



● 高原ダム探検隊



まがたで見るゲートはすごい威力! 左の写真では手前がゲートの「ふた」になっている

探検隊は「地中用(水)と「地上用(水)」をふくめて3種類の放水設備があつて、ここから見てもらつたのは「高圧ラジアルゲート」とよばれるもの。ゲートの高さが3.6mもあつて、同じものに出たぞ!」



ダムの中ってすずしいね!

でっかいゲートにびっくり!

くまの目の前で見えるゲートの大きさに、みんなびっくり! だいたい、ふつうこんなところに人を入れないよね。これでも子ども記者なら、はじめての経験だ。こんな冒険も出た。これを開けると、どのくらい水が流れるんですか? 高橋さんのお話によると、このゲートが全開になると、1つのゲートにつき、1秒間になんと500リットル(500トン)の水が出ていくんだって(3門で1500リットル)。

「きれいな花たちもビジョンから」 堤元の中の見学を終えて、みんなで湖畔を散歩。お花畑も整備されて、なかなか快適! しかも倒壊したという、ダム湖前原野で釣りできた、ボートやジャストシステムを貸し出し、遊べるダムでもあるんだ。湖畔を上流へ歩いてゆくと、すてきな作り橋。原橋にさしかかると、これこそ高野めぐりの人気スポットなんだ。この橋のすぐ目の前に「白沢発電所取水水口」とかかれた施設があつた。そう、発電に使う水は、ここから水路をとおして発電所へ



ながめは最高! ウルマも遊べる大から「高野めぐり」



地元の人たちが親類に贈えた「ピオラ」という花

送られていたんだ。ところで、彼らのちゅうでみんな気づいた。きれいな花が植えられていた。じつは、これも「水源地ビジョン」のひとつなんだ。地元のお年よりの人たちが「お花畑」をつくり、プランターをならべたりしていたことだ。なるほど、こうして、地元の人たちの手づくりで水源地がいきいきしていきんだね。そんな発見もあつた。探検隊だつた。

発電機そばにある「白沢発電所取水水口」



高野ダムは上のほうに4門の発電用ゲートがあるんだ

「発見! 体験、13のコトバ」 13人というに等やかな探検隊、ひとことずつ感想をどうぞ。高橋さん「ゲートの大きさに、びっくり!」 高橋さん「ゲートの大きさに、びっくり!」 高橋さん「ゲートの大きさに、びっくり!」

「発見! 体験、13のコトバ」 13人というに等やかな探検隊、ひとことずつ感想をどうぞ。高橋さん「ゲートの大きさに、びっくり!」 高橋さん「ゲートの大きさに、びっくり!」



映射の場でハイポーズ! 落ちないよう注意!

探検スペシャル「吹割の滝」!